



## 担任の先生が来てくれたよ！

中学1年のA子さんは、中学校の入学式には無理をして出席したものの、その翌日に入院することになってしまいました。同じ小学校から進学した友達も少なく、担任の先生ともほとんど話をしていません。教科書ももらっていないし、中学校から始まる教科担任制も不安です。希望する部活動に入れるかどうかも気になります。そこで、北里学級では担任の先生と連絡をとり、面会に来ていただくようお願いをしました。

早速面会に来てくれた担任のY先生は、クラスの雰囲気、教科別に授業の進度や、6月に予定されている校外学習の班編成のこと、部活動のことなどAさんの不安を次々と消してくれました。そしてクラス全員からのメッセージと写真を持ってきてくれたのです。「クラスみんなはいつもA子さんのことを気にかけているよ」「はやくクラス全員で給食が食べたいね、って話す子もいるよ」という先生の言葉を聞いて、A子さんは「自分もクラスの一員だと感じて嬉しかった」と話してくれました。

北里大学病院の小児病棟では、原則として保護者の方以外の面会はできないことになっていますが、担任の先生との面会は2年前に、小児病棟と北里学級が話し合ってスタートさせた制度です。学校に戻るときの不安を少しでも少なくするとともに、「早く退院したい」という前向きな気持ちを持つことができるようになることを願っています。



## 火曜日は小中合同で！

北里学級の授業は、原則として小学部中学部別々におこなっていますが、毎日の朝の会、木曜午後の散歩、に加えて昨年度から小中学生が交流しながら授業を行う試みに取り組んでいます。火曜日の午後は、小学部が音楽、図工、中学部は実技教科の時間として、ひとつの教室で主に美術（図工）に取り組んでいます。先週は「ペーパークラフト」の制作を行いました。ペーパークラフトは、子どもたちの学年に応じてクオリティの高い作品作りに取り組むことができ、北里学級では小中合同で出来る楽しい活動の1つです。



## 子どもの日お楽しみ会

5月2日に小児病棟プレイルームで「子どもの日お楽しみ会」が行われました。病院スタッフ、北里学級が協力して下記のようなプログラムで行いました。

- 1、きせつのうたと おはなし
- 2、北里学級のだしもの 「勇気100%」のうた
- 3、こうさく 「こいのぼり」

子どもたちは、保護者と一緒に「こいのぼり」に目を入れたり、鱗をいろんな色のシールを貼ったりして仕上げ、楽しい一時を過ごしました。病室のベッドには、子どもたちが作った鯉のぼりが、飾られていました。

